

富士山樹空の森まつりで広報活動



しずぼん

自衛隊静岡地方協力本部沼津地域事務所（所長・早川勉一 等陸尉）は2月23日（木）、富士山樹空の森（御殿場市）で行われた「富士山樹空の森まつり」で広報活動を行った。静岡地本は、自衛隊の災害派遣活動パネルの展示、子供用迷彩服の試着体験コーナー、自衛隊の航空機や戦車などをかたどった折り紙・ぬりえの体験コーナーを設けた。

陸上自衛隊富士学校音楽部（駿東郡小山町）による音楽演奏、板妻駐屯地第34普通科連隊（御殿場市）によるらっば演奏、小型トラックと軽装甲機動車の展示、高機動車の体験試乗もあり、会場は大いに賑わった。

当日は6000人以上の来場者あり、静岡県内での災害派遣活動の写真を見て質問をする人や、迷彩服を試着して写真撮影を楽しむ人の姿が見られた。



折り紙コーナー

また、静岡地本のマスコットキャラクター「しずぼん」、板妻駐屯地の軽装甲機動戦士「イタツマン」が登場すると、子どもたちの人気を集めた。

ブースを訪れた来場者からは「いろんな催し物があり、楽しかった」「自衛隊の装備品、制度や災害派遣について知ることができた」との声が聞かれた。

沼津所は、今後も自衛隊への理解を深めてもらえるよう広報活動を継続していく。

「親しみやすい自衛官」を動画でPR

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・武田恭一 等空佐）は2月27日（月）、伊東地域事務所（伊東市）において広報官のPR動画を撮影した。これは、県内各地域で自衛官募集や広報業務などを行う広報官の顔や人となりを動画で紹介し、自衛官に親しみを感じてもらおうと行っているもの。静岡県内には10カ所の募集事務所があり、それぞれ3人から6人の自衛官が広報官として業務を行っている。2月末現在で8カ所の動画が公開されており、今回は新しく伊東地域事務所の撮影を行った。

伊東駅から事務所までの道のりを所長と静岡地本のマスコットキャラクター「しずぼん」が案内する動画を撮影していると、その様子を見ていた家族連れが「事務所の中も見られるんですね」と興味を示し、広報官が案内する場面も。家族連れは事務所にある制服を試着したり、広報官から自衛隊の活動について話を聞き、理解を深めていた。

広報官の動画撮影では、撮影班の隊員がアングルや背景、ポーズなどをアドバイスしつつ、一人ひとりが柔らかな笑顔とユーモアや熱意を込めたコメントで撮影に臨んだ。

静岡地本は、今後も地域との繋がりを重視し、親しみやすい自衛隊をPRしていく。

